



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年1月30日

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社

上場取引所 東

コード番号 4957 URL <https://www.yschem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安原 禎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長 (氏名) 敷田 憲治

TEL 0847-45-3530

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,972	5.4	289	52.2	658	17.9	655	8.3
2022年3月期第3四半期	9,486	12.3	604	172.3	802	345.4	605	431.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	63.81	
2022年3月期第3四半期	58.90	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年3月期第3四半期	29,356		19,874		67.7	
2022年3月期	24,981		19,341		77.4	

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 19,874百万円 2022年3月期 19,341百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		6.00		6.00	12.00
2023年3月期		6.00			
2023年3月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,798	6.2	158	78.7	655	41.9	647	14.6	63.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	10,839,663 株	2022年3月期	10,839,663 株
2023年3月期3Q	565,358 株	2022年3月期	565,358 株
2023年3月期3Q	10,274,305 株	2022年3月期3Q	10,274,478 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前事業年度及び前第3四半期累計期間についても百万円単位で表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、依然として続く部材・半導体不足に加え、資源・エネルギー価格の高騰、円安の影響などにより総じて厳しい状況で推移いたしました。また、世界経済におきましても、同様に経済活動が再開され回復の兆しがみられましたが、部材不足や原材料価格の高騰に加え、ウクライナ情勢など、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましては、原材料価格・エネルギー価格の高騰、製品価格の競争等により、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、高付加価値製品の開発、国内外の新規顧客の開拓及び取引先との関係強化に積極的に取り組み、販売の拡大に努めてまいりました。また、原材料の高騰が続くなかで生産の合理化・効率化をはかり、利益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高8,972百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益289百万円（同52.2%減）、為替差益等により経常利益658百万円（同17.9%減）、高木作業所跡地の一部売却により四半期純利益655百万円（同8.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ4,374百万円増加し29,356百万円となりました。これは主に、前渡金が減少した一方、現金及び預金、製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品、機械及び装置、売掛金の増加によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ3,842百万円増加し9,482百万円となりました。これは主に、未払法人税等、買掛金、賞与引当金が減少した一方、長期借入金、短期借入金の増加によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ532百万円増加し19,874百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年11月18日の「固定資産の譲渡及び特別利益の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,473	7,312
売掛金	2,222	2,398
製品	2,297	2,756
仕掛品	1,169	1,544
原材料及び貯蔵品	7,064	7,376
その他	272	306
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	17,498	21,693
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	847	839
機械及び装置（純額）	676	907
土地	2,779	2,757
その他（純額）	638	638
有形固定資産合計	4,943	5,142
無形固定資産	65	55
投資その他の資産		
投資有価証券	1,506	1,505
繰延税金資産	195	150
その他	782	817
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,475	2,463
固定資産合計	7,483	7,662
資産合計	24,981	29,356
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	574	427
短期借入金	1,840	2,610
未払法人税等	330	21
前受金	1	—
賞与引当金	161	44
その他	699	576
流動負債合計	3,606	3,679
固定負債		
長期借入金	999	4,741
退職給付引当金	421	431
役員退職慰労引当金	604	623
その他	7	6
固定負債合計	2,033	5,802
負債合計	5,639	9,482

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789	1,789
資本剰余金	1,729	1,729
利益剰余金	16,086	16,618
自己株式	△392	△392
株主資本合計	19,212	19,744
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	129	129
評価・換算差額等合計	129	129
純資産合計	19,341	19,874
負債純資産合計	24,981	29,356

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	9,486	8,972
売上原価	7,413	7,236
売上総利益	2,072	1,736
販売費及び一般管理費	1,467	1,446
営業利益	604	289
営業外収益		
受取利息	9	19
受取配当金	15	14
為替差益	116	299
その他	65	44
営業外収益合計	206	377
営業外費用		
支払利息	5	4
手形売却損	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	8	7
経常利益	802	658
特別利益		
固定資産売却益	—	243
投資有価証券売却益	—	1
投資有価証券償還益	10	—
特別利益合計	10	245
特別損失		
固定資産処分損	10	—
特別損失合計	10	—
税引前四半期純利益	802	904
法人税、住民税及び事業税	164	203
法人税等調整額	32	45
法人税等合計	196	248
四半期純利益	605	655

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。